

御 建 都 第 3 0 7 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

御殿場市長 長 田 開 蔵



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、  
別紙様式により回答いたします。

記

1. 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など（様式①）
2. 地域の現状と抱える課題（様式②）
3. 地域の目指すべき将来像（様式③）

〒412-8601 静岡県御殿場市萩原 433  
御殿場市建設水道部都市計画課  
計画・土地対策スタッフ 担当：山本  
TEL 0550-82-4222 FAX0550-82-4232

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県御殿場市

1. 道路整備について、市民要望が毎年多数要望されている。日本の道路の84%は市町村道であり、財源の確保が課題であることから、財源の移譲を要望する。
2. 毎年、補助制度や交付金制度について新たな制度が創設されるが、新制度について市町村まで説明が届いていないため、十分活用されていないと感じる。具体的説明を要望する。
3. 社会資本整備の重要性について、国民に十分な認識がないため、単純な発想での道路不要論が出現する。地域活力再生には経済界も含めた対応が必要であるし、維持管理等については、地域対応を含め、NPO等に移行する可能性も考えると、教育分野においても社会資本について項目を置くべきではないか。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１地域の現状と抱える課題

静岡県御殿場市

| ○現状                                                                                                                              | ○課題                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 1. 富士箱根に代表される国内有数の観光資源を有する本市において、資源の有効活用を図り、国内外の観光客の誘致と環境の保全が求められるとともに、富士山静岡空港の開設、富士山世界遺産登録、観光立国推進計画に基づくシーニックバイウエイの動きも活発となりつつある。 | 1. 適正な土地利用、道路網の構築、景観形成が求められている。            |
| 2. 合併促進法、定住自立圏構想等により、広域連合が話し合われている。                                                                                              | 2. 適正な土地利用と道路網の構築が必要となる。                   |
| 3. 御殿場プレミアムアウトレット、F-1等の大規模集客施設の立地により、交通量の増加とともに渋滞が発生している。                                                                        | 3. 渋滞対策、スマートICの開設の検討が必要となる。                |
| 4. 「ものづくり静岡」では、東部地区はファルマバレーとして、位置付けられている中で、本市においては製造業を主体とした企業の立地問い合わせが多く、大規模な企業進出について受け入れ先が無く、新たな工業用地を確保している状況にある。               | 4. 新東名高速道路御殿場IC開設に伴い、アクセス道路整備及び財源確保が必要である。 |
| 5. 中心市街地の再生に取り組んでいるとともに市街地の主要道路、通学路等に歩道が設置されていないことから、歩行者、交通弱者にとって危険な状況にある。                                                       | 5. 道路網の構築と歩道等の安全施設の設置、バリアフリー化が重要となっている。    |
| 6. 道路等が老朽化し、維持修繕費が年々増大している。また、台風、集中豪雨等による降雨量の急激な増加により、想定外の被害が拡大している。                                                             | 6. 財源の確保とマンパワーが必要である。                      |

②－２地域の目指すべき将来像

静岡県御殿場市

御殿場市総合計画では、「緑きらきら、人いきいき御殿場」を将来都市像として掲げ、新東名高速道路の施行着手に合わせ都市内の道路骨格の構築を行い、国内有数の観光資源の活用を図り、滞在型の観光都市とともに、製造業を主体とした高付加価値型産業都市を目指し、自然環境との調和及び保全を図りながら、隣接都市との連携を深め、市民が安心して暮らすことのできる都市を将来像とする。